

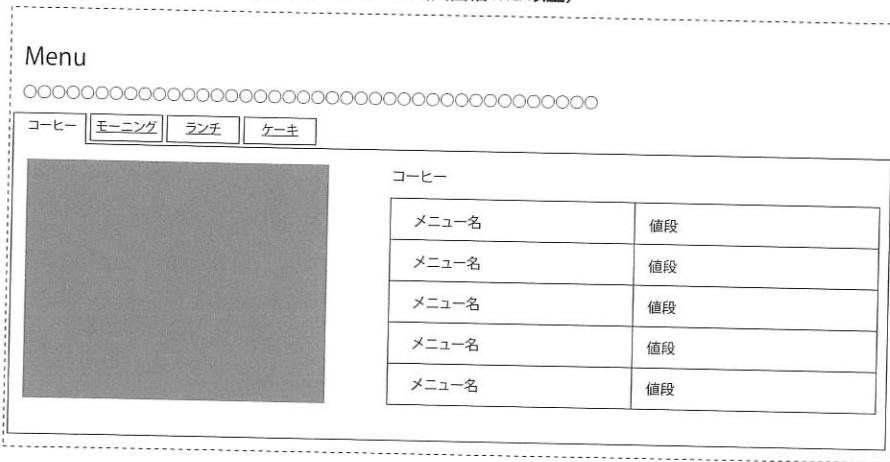
# 9 SECTION 8 コンテンツ 03 (Menu) の作成

飲食メニューを紹介するコンテンツ 03 「Menu」を作成します。このコンテンツには、タブ型ナビゲーション（P.153 参照）を組み込んだタブパネルや、縞模様のテーブル（P.77 参照）を使用します。

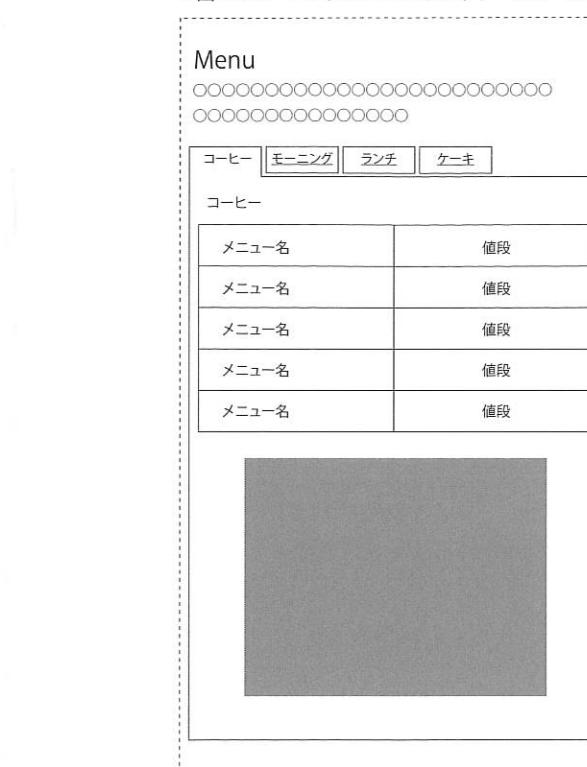
## 9.8.1 コンテンツ 03 のレイアウト

まず、ワイヤーフレームでコンテンツ 03 のレイアウトを再確認しておきましょう。画面幅 md 以上（デスクトップ PC での閲覧時）では、メニュー写真が左に、メニュー表が右に、水平方向に横並びになります（図 9-31）。

▼図 9-31 コンテンツ 03 のワイヤーフレーム（画面幅 md 以上）



画面幅 sm 以下（モバイル端末での閲覧時）では、メニュー表が上に、メニュー写真が下に、垂直方向に縦並びになります（図 9-32）。



またこのコンテンツでは、メニュー表をタブパネルで表示切り替えできるようにします。タブパネルは、タブ型ナビゲーションと、ナビゲーションによって表示が切り替えられるパネルとで構成されます。タブパネルは、スクロールせずにタブクリックで内容を切り替えられるため、メニュー表など情報量の多いコンテンツの表示に便利です。

## 9.8.2 コンテンツ 03 の構成

ではコンテンツ03を作成していきましょう。内容量が多く複雑に見えますが、まずナビゲーションとなるタブを作り、その内容となるパネルを作る、という手順です。タブとパネルを2つ作って、表示が切り替わるかどうかを確認した後、コピー&ペーストで複製していくと良いでしょう。

コンテンツ 03 全体のレイアウト

このコンテンツでは、タブ型ナビゲーションで4つのパネルの表示を切り替えます。外観を作るためのクラス指定が多くなっていますが、JavaScriptによるタブ切り替えを機能させるポイントは、タブナビゲーションとなるa要素に、**data-toggle="tab"**を追記すること、href属性値に対応するパネルのID名を指定することです（リスト9-18）。

## ▼リスト9-18 コンテンツ03全体のレイアウト(contents-03-layout.html)

```

<!-- コンテンツ03 -->
<div class="py-4">
  <section id="menu"> _____
    <div class="container"> _____
      <h3 class="mb-3">Menu</h3> _____
      <p>カフェ Mr. M COFFEEのメニューです。掲載していない季節限定メニューはMr. M COFFEEの<a href="#">ブログ</a>にて紹介しています。</p>

      <!-- タブ型ナビゲーション -->
      <div class="nav nav-tabs" id="tab-menus" role="tablist"> _____
        <!-- タブ01 -->
        <a class="nav-item nav-link active" id="tab-menu01" data-toggle="tab" href="#panel-menu01" role="tab" aria-controls="panel-menu01" aria-selected="true">コーヒー</a> _____
        <!-- タブ02 -->
        <a class="nav-item nav-link" id="tab-menu02" data-toggle="tab" href="#panel-menu02" role="tab" aria-controls="panel-menu02" aria-selected="false">モーニング</a> _____
        <!-- タブ03 -->
        <a class="nav-item nav-link" id="tab-menu03" data-toggle="tab" href="#panel-menu03" role="tab" aria-controls="panel-menu03" aria-selected="false">ランチ</a> _____
        <!-- タブ04 -->
        <a class="nav-item nav-link" id="tab-menu04" data-toggle="tab" href="#panel-menu04" role="tab" aria-controls="panel-menu04" aria-selected="false">ケーキ</a>
      </div>
      <!-- /タブ型ナビゲーション -->

      <!-- タブパネル -->
      <div class="tab-content" id="panel-menus"> _____
        <!-- パネル01 -->
        <div class="tab-pane fade show active border border-top-0" id="panel-menu01" role="tabpanel" aria-labelledby="tab-menu01"> _____
          (コーヒーのメニュー表)
        </div>
        <!-- パネル02 -->
        <div class="tab-pane fade border border-top-0" id="panel-menu02" role="tabpanel" aria-labelledby="tab-menu02"> _____
          (モーニングのメニュー表)
        </div>
        <!-- パネル03 -->
        <div class="tab-pane fade border border-top-0" id="panel-menu03" role="tabpanel" aria-labelledby="tab-menu03"> _____
          (ランチのメニュー表)
        </div>
        <!-- パネル04 -->
        <div class="tab-pane fade border border-top-0" id="panel-menu04" role="tabpanel" aria-labelledby="tab-menu04"> _____
          (ケーキのメニュー表)
        </div>
      </div>
    </div>
  </section>
</div>

```

```
<!-- /タブパネル -->
</div>
</section>
</div>
<!-- /コンテンツ03 -->
```

コンテンツ03内を section 要素でマークアップし、id 属性値を **menu** と設定します（①）。  
section 要素内のコンテンツを水平中央に配置するために、div 要素に **container クラス**（P.23 参照）を追加します（②）。このコンテンツの見出しどとる h3 要素には、Spacing ユーティリティ（P.318 参照）の **mb-\* クラス**を追加し、下要素との間のスペースが詰まりすぎないようにマージンを適宜調整します（③）。

次に、タブ型ナビゲーションとパネルを作成します。

タブ型ナビゲーションは、div 要素に **nav クラス**と **nav-tabs クラス**を追加して作成します（④）。またアクセシビリティに配慮するため、属性 **role="tablist"** を追加してこの要素の役割をスクリーンリーダーに伝えます。

ナビゲーション内の a 要素に **nav-item クラス**と **nav-link クラス**を追加し、各メニュー名のタブを作成します（⑤）。さらに、初期選択されるタブの a 要素には **active クラス**も追加します。また、パネルの表示切り替えに必要な属性 **data-toggle="tab"** を追加し、href 属性値と表示切り替えのターゲットとなるパネルの id 属性値とを一致させて、表示切り替えの対象を設定します。なおアクセシビリティに配慮するため role 属性と aria-\* 属性も忘れずに追加しておきましょう。

パネルの部分は、div 要素に **tab-content クラス**を追加して外枠を作成します（⑥）。本章のサンプルでは、tab-content クラスを設定した要素内に、div 要素に **tab-pane クラス**を追加して 4 つのパネルを作成しています（⑦）。各パネルの切り替えをフェードインで表示させるには、tab-pane クラスが設定された要素に **fade クラス**を追加します。また、初期表示させるパネルには **show クラス**が必要です。なお初期設定でパネルの上部には枠線が表示されますが、本章のサンプルでは、Border ユーティリティ（P.306 参照）の **border クラス**、**border-top-0 クラス**を追加して、左、右、下部の枠線も表示させています。またアクセシビリティに配慮するため role 属性と aria-\* 属性を追加しています。各パネル内の構成については、後の「パネル内のレイアウト」で説明します。

## ■ パネル内のレイアウト

では各パネル内のレイアウトを行っていきましょう。パネル内には任意の内容を配置できます。本章のサンプルでは、メニューの見出し、画像、メニュー表を配置します。またグリッドシステムや Flex ユーティリティ（P.322 参照）の order クラスを利用して、画面幅によって配置の縦並びや横並び、表示順が切り替わるよう作成します（リスト9-19）。

### ▼リスト9-19 パネル内のレイアウト (contents-03-layout-tabpanel.html)

```
<!-- タブパネル -->
<div class="tab-content" id="panel-menus">
  <!-- パネル01 -->
  <div class="tab-pane fade show active border border-top-0" id="panel-menu01" role="tabpanel" ↵
    aria-labelledby="tab-menu01">
```

```

<div class="row p-3"> _____ ①
  <div class="col-md-7 order-md-2"> _____ ②
    <h4>COFFEE</h4>
    <table class="table table-striped"> _____ ③
      <tbody>
        <tr>
          <th>M ブレンド</th>
          <td>390円（税別）</td>
        </tr>
        <tr>
          <th>アイスコーヒー</th>
          <td>430円（税別）</td>
        </tr>
        <tr>
          <th>ブラジルシングル</th>
          <td>430円（税別）</td>
        </tr>
        <tr>
          <th>エスプレッソ</th>
          <td>300円（税別）</td>
        </tr>
        <tr>
          <th>カプチーノ</th>
          <td>430円（税別）</td>
        </tr>
      </tbody>
    </table>
  </div>
  <div class="col-md-5"> _____ ②
     _____ ④
  </div>
</div>
<!-- パネル02 -->
<div class="tab-pane fade border border-top-0" id="panel-menu02" role="tabpanel" <-->
  aria-labelledby="tab-menu02">
  <div class="row p-3"> _____ ①
    <div class="col-md-7 order-md-2"> _____ ②
      <h4>MORNING</h4>
      <table class="table table-striped"> _____ ③
      …中略…
      </table>
    </div>
    <div class="col-md-5"> _____ ②
       _____ ④
    </div>
  </div>
</div>
<!-- パネル03 -->

```

```

<div class="tab-pane fade border border-top-0" id="panel-menu03" role="tabpanel" ↪
aria-labelledby="tab-menu03">
  <div class="row p-3"> _____ ①
    <div class="col-md-7 order-md-2"> _____ ②
      <h4>LUNCH</h4>
      <table class="table table-striped"> _____ ③
      ...中略...
      </table>
    </div>
    <div class="col-md-5"> _____ ④
       _____ ⑤
    </div>
  </div>
  <!-- パネル04 -->
  <div class="tab-pane fade border border-top-0" id="panel-menu04" role="tabpanel" ↪
aria-labelledby="tab-menu04">
  <div class="row p-3"> _____ ①
    <div class="col-md-7 order-md-2"> _____ ②
      <h4>CAKE</h4>
      <table class="table table-striped"> _____ ③
      ...中略...
      </table>
    </div>
    <div class="col-md-5"> _____ ④
       _____ ⑤
    </div>
  </div>
  <!-- /タブパネル -->

```

各パネル内にグリッドレイアウト（P.22 参照）を組み込みます。グリッドレイアウトは、まず div 要素にグリッドレイアウトを行うための行を形成する **row クラス**を追加します（①）。また、Spacing ユーティリティ（P.318 参照）の **p-\* クラス**を使用して、パネル内のレイアウトが窮屈にならないようにパディングサイズを調整しています。次に、子要素に **col-{ ブレイクポイント }-\* クラス**を追加します（②）。本章のサンプルでは、画面幅が md 以上のときにメニュー表が 7 列カラム（col-md-7）、メニュー写真が 5 列カラム（col-md-5）のレイアウトになるよう設定しています。

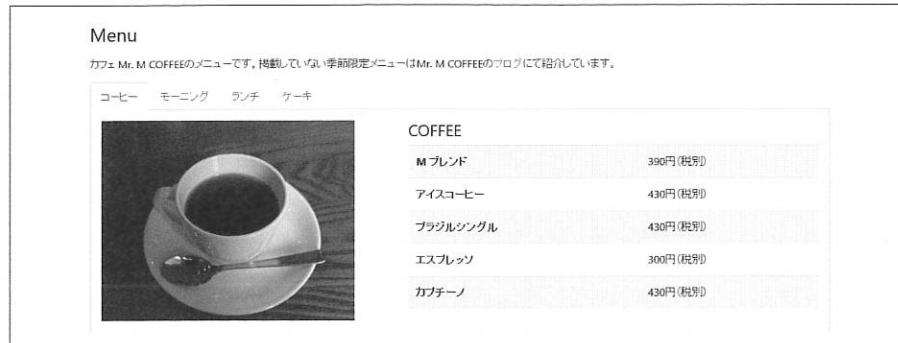
さらに、7 列カラムに設定された div 要素には、Flex ユーティリティ（P.322 参照）の **order-{ ブレイクポイント }-\* クラス**を追加し、HTML の構造を変えずにコンテンツの表示順序だけを入れ替えています。これによって、「PC 閲覧時にはメニュー表を先に」「モバイル端末での閲覧時には写真を先に」など、画面幅に応じた最適なコンテンツの表示順をコントロールすることができます。本章のサンプルでは、HTML の構造上は先に記述されているメニュー表を、画面幅 md 以上では 2 番目（右側）に表示させ、後に記述されている写真を先（左側）に表示させています。画面幅 sm 以下では HTML の構造通りメニュー表を先（上側）に、写真を 2 番目（下側）に表示させます。

7列カラム側には、メニューの見出しとメニュー表を配置します。メニュー表は、table要素に**tableクラス**、**table-stripedクラス**(P.77参照)を追加して縞模様のテーブルとして作成します(③)。5列カラム側には、メニュー写真を配置します。メニュー写真は、img要素に**img-fluidクラス**(P.69参照)を追加し、画像サイズをレスポンシブ対応させます(④)。

### 9.8.3 コンテンツ03の完成図

以上で、飲食メニューを紹介するコンテンツ03「Menu」が完成です。画面幅md以上では、メニュー写真が左に、メニュー表が右に、水平方向に横並びになります(図9-33)。

▼図9-33 コンテンツ03(画面幅md以上)



画面幅sm以下では、メニュー写真が下に、メニュー表が上に、垂直方向に縦並びになります(図9-34)。

▼図9-34 コンテンツ03(画面幅sm以下)



1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10

タブ型ナビゲーションのメニュー名をクリックすると、パネル表示が切り替わります（図 9-35～図 9-37）。

▼図 9-35 パネル表示の切り替え（パネル 02）

**Menu**

カフェ Mr. M COFFEE のメニューです。掲載していない季節限定メニューはMr. M COFFEE のブログにて紹介しています。

コーヒー モーニング ランチ ケーキ



MORNNING	
トーストセット	450円 (税別)
トーストゆで卵セット	500円 (税別)
フレンチトーストセット	600円 (税別)
野菜たっぷりスープセット	650円 (税別)

▼図 9-36 パネル表示の切り替え（パネル 03）

**Menu**

カフェ Mr. M COFFEE のメニューです。掲載していない季節限定メニューはMr. M COFFEE のブログにて紹介しています。

コーヒー モーニング ランチ ケーキ



LUNCH	
ワンプレートランチ	1,000円 (税別)
Mixサンド	650円 (税別)
ハンバーグサンド	750円 (税別)
野菜たっぷりスープ	650円 (税別)

▼図 9-37 パネル表示の切り替え（パネル 04）

**Menu**

カフェ Mr. M COFFEE のメニューです。掲載していない季節限定メニューはMr. M COFFEE のブログにて紹介しています。

コーヒー モーニング ランチ ケーキ



CAKE	
シフォンケーキ	400円 (税別)
チーズケーキ	350円 (税別)
本日のケーキ	400円 (税別) ~
季節のパウンドケーキ	400円 (税別) ~

# 9 SECTION 9 コンテンツ 04 (Coupon) の作成

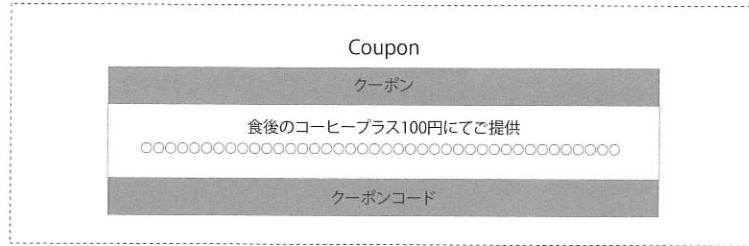
カフェのクーポンチケットを紹介するコンテンツ 04 「Coupon」を作成します。

このコンテンツには、このコンテンツでは、**カード** (P.124 参照) を使用したクーポンチケットを表示します。

## 9.9.1 コンテンツ 04 のレイアウト

まず、ワイヤーフレームでコンテンツ 04 のレイアウトを再確認しておきましょう。画面幅 md 以上（デスクトップ PC での閲覧時）と画面幅 sm 以下（モバイル端末での閲覧時）とで、特にレイアウトの変更はありません（図 9-38）。

▼図 9-38 コンテンツ 04 のレイアウト



## 9.9.2 コンテンツ 04 の構成

ではコンテンツ 04 を作成ていきましょう。このコンテンツでは、カードの基本的な使い方や、配色や文字のユーティリティ (P.301 参照) を活用した外観の調整方法を確認できます。Bootstrap で定義されているたくさんのユーティリティの活用は、**インブラウザデザイン**<sup>\*1</sup> を行う上でとても有効です（リスト 9-20）。

▼リスト 9-20 コンテンツ 04 の作成 (contents-04.html)

```
<!-- コンテンツ04 -->
<div class="py-4 bg-light"> _____ ①
  <section id="coupon"> _____ ②
    <div class="container"> _____ ③
      <h3 class="text-center mb-3">Coupon</h3> _____ ④
    </div>
  </section>
</div>
```

\* 1 ワイヤーフレームと配置コンテンツをもとに、コーディングしながらブラウザ上で直接デザインする手法です。

```

<div class="card text-center text-dark w-75 mx-auto"> ⑤
  <div class="card-header bg-success text-white"> ⑥
    Mr. M COFFEE ランチクーポン
  </div>
  <div class="card-body"> ⑦
    <h5 class="card-title">食後のコーヒー+100円にてご提供</h5> ⑧
    <p class="card-text text-justify">ワンプレートランチ（限定数20食）ご注文のお客様に、プラス100円で食後のコーヒーをご提供。お会計の際に、このクーポン画面をスタッフに見せてください。</p> ⑨
  </div>
  <div class="card-footer bg-success text-white"> ⑩
    クーポンコード : HAPPYLUNCH
  </div>
</div>
<!-- /カード -->
</div>
</section>
</div>
<!-- /コンテンツ04 -->

```

ページ全体の背景色が単調にならないように、エリアを分けるdiv要素に**bg-lightクラス**(P.304参照)を追加し、背景色を明るいグレー(#f8f9fa)に設定します(①)。

コンテンツ04内をsection要素でマークアップし、id属性値を**coupon**と設定します(②)。section要素内のコンテンツを水平中央に配置するために、div要素に**containerクラス**(P.23参照)を追加します(③)。

このコンテンツの見出しどなるh3要素には、Textユーティリティ(P.347参照)の**text-centerクラス**を追加し、テキストを水平方向中央揃えに設定します(④)。またSpacingユーティリティ(P.318参照)の**mb-\*クラス**を追加し、下要素との間のスペースが詰まりすぎないようにマージンを適宜調整します。

次に、カードを使用してクーポンチケットを作成します。

div要素に**cardクラス**(P.124参照)を追加し、カードの枠を作成します(⑤)。このカードの枠には、表9-1のクラスを追加してレイアウトやサイズ、配色を調整しています。

▼表9-1 カードのレイアウトや文字スタイルを調整するクラス

クラス	概要
text-center	テキストを水平方向中央揃えにするTextユーティリティ
text-dark	文字色を暗色にするColorユーティリティ
w-75	幅を親要素の75%にするSizingユーティリティ
mx-auto	水平方向に自動マージンを設定し、要素をセンタリングするSpacingユーティリティ

カードの枠内には、ヘッダーと本文とフッターを構成します。

カードのヘッダー部分は、div要素に**card-headerクラス**を追加して作成します(⑥)。ヘッダーには、表9-2のクラスを追加して配色を調整しています。

▼表9-2 カードのヘッダー部分に追加したクラス

クラス	概要
bg-success	背景色を緑系に設定する Color ユーティリティ
text-white	文字色を白に設定する Color ユーティリティ

カードの本文の部分は、div要素に**card-body**クラスを追加して作成します（⑦）。本章のサンプルでは、本文内にはカードの見出しと内容文を配置しています。カードの見出しあは、見出し要素（h5）に**card-title**クラスを追加して作成します（⑧）。カードの内容文は、テキスト要素（p）に**card-text**クラスを追加して作成し、文字を均等割り付けするために**text-justify**クラスを追加しています（⑨）。

カードのフッターパートは、div要素に**card-footer**クラスを追加して作成します（⑩）。フッターパートには、ヘッダーと同様のColorユーティリティの**bg-success**クラスと**text-white**クラスを追加して配色を調整しています。

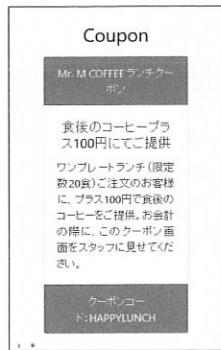
### 9.9.3 コンテンツ04の完成図

以上で、カフェのクーポンチケットを紹介するコンテンツ04「Coupon」が完成です。画面幅md以上（デスクトップPCでの閲覧時）（図9-39）と画面幅sm以下（モバイル端末での閲覧時）（図9-40）とで、特にレイアウトの変更はありません。

▼図9-39 コンテンツ04（画面幅md以上）



▼図9-40 コンテンツ04（画面幅sm以下）



9

SECTION

## 10

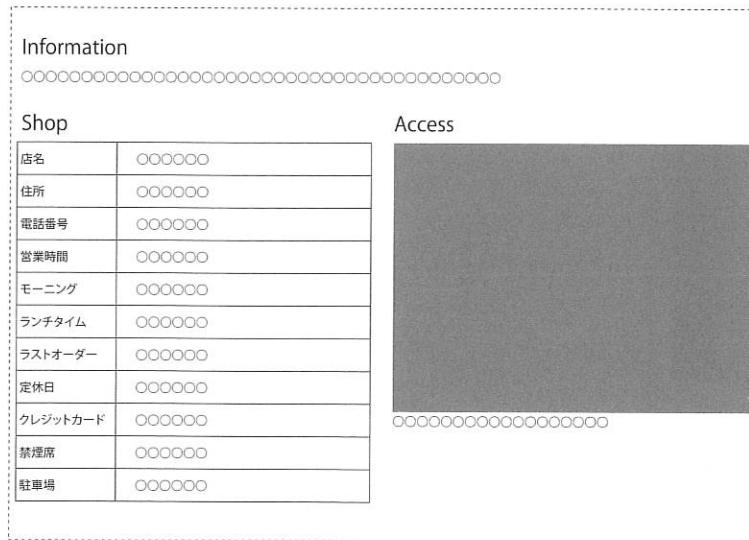
# コンテンツ 05 (Information) の作成

店舗情報を紹介するコンテンツ 05 「Information」を作成します。このコンテンツには、**マウスオーバー表示のテーブル**（P.80 参照）や、レスポンシブ対応させた Google マップの埋め込みなどを行います。

## 9.10.1 コンテンツ 05 のレイアウト

まず、ワイヤーフレームでコンテンツ 05 のレイアウトを再確認しておきましょう。画面幅 md 以上（デスクトップ PC での閲覧時）では、店舗情報の表が左側に、アクセスマップが右側に、水平方向に横並びになります（図 9-41）。

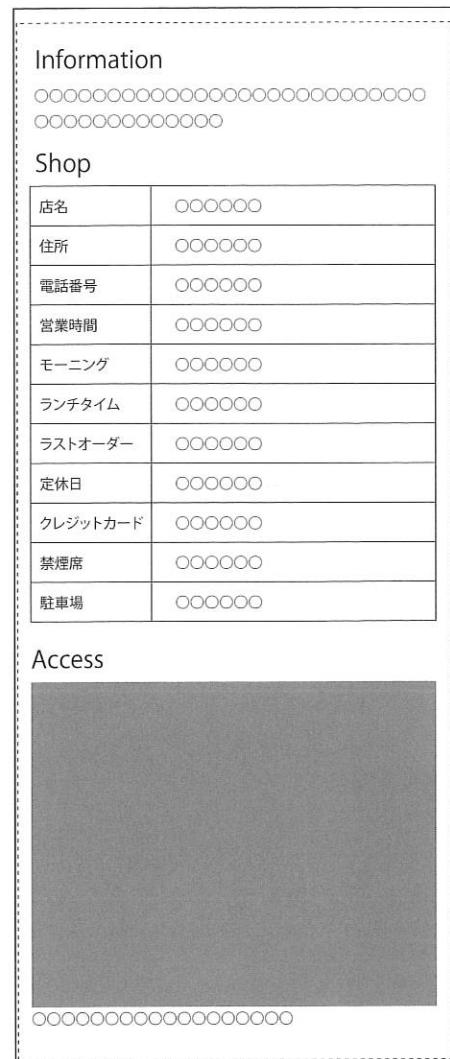
▼図 9-41 コンテンツ 05 のワイヤーフレーム（画面幅 md 以上）



画面幅 sm 以下（モバイル端末での閲覧時）では、店舗情報の表が上に、アクセスマップが下に、垂直方向に縦並びになります（図 9-42）。

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10

▼図9-42 コンテンツ05のワイヤーフレーム（画面幅sm以下）



## 9.10.2 コンテンツ05の構成

ではコンテンツ05を作成していきましょう（リスト9-21）。

▼リスト9-21 コンテンツ05の作成（contents-05-layout.html）

```
<!-- コンテンツ05 -->
<div class="py-4">
  <section id="information"> _____①
    <div class="container"> _____②
      <h3 class="mb-3">Information</h3> _____③
    </div>
  </section>
</div>
```

```

<p>カフェ Mr. M COFFEE (ミスターエムコーヒー) は、○○県の○○市の山の中にあります。大自然に囲まれて、こだわりのコーヒーを飲みながら、美味しい空気と美しい景色をご堪能ください。</p>
<div class="row"> _____ ④
  <!-- 左側セクション -->
  <div class="col-md-6"> _____ ⑤
    <section id="shop"> _____ ⑥
      <h4 class="mb-3">Shop</h4> _____ ⑦
      <!-- 店舗情報の表 -->
      店舗情報の表が入ります
      <!-- /店舗情報の表 -->
    </section>
  </div>
  <!-- /左側セクション -->
  <!-- 右側セクション -->
  <div class="col-md-6"> _____ ⑤
    <section id="access"> _____ ⑥
      <h4 class="mb-3">Access</h4> _____ ⑦
      <!-- アクセスマップ -->
      アクセスマップが入ります
      <!-- /アクセスマップ -->
      <p>○○駅から徒歩12分 (950m) 、駐車場あり</p>
    </section>
  </div>
  <!-- /右側セクション -->
</div>
</section>
</div>
<!-- /コンテンツ05 -->

```

コンテンツ 05 内を section 要素でマークアップし、id 属性値を **information** と設定します (①)。section 要素内のコンテンツを水平中央に配置するために、div 要素に **container クラス** (P.23 参照) を追加します (②)。

このコンテンツの見出しどとなる h3 要素には、Spacing ユーティリティ (P.318 参照) の **mb-\* クラス** を追加し、下要素との間のスペースが詰まりすぎないようにマージンを適宜調整します (③)。

見出し (h3) と紹介文 (p) の後は、コンテンツ内を左右 2 カラム構成にするためにグリッドレイアウトを組み込みます。グリッドレイアウトは、まず div 要素にグリッドレイアウトを行うための行を形成する **row クラス** を追加します (④)。次に、子要素に **col-{ ブレイクポイント }-\* クラス** を追加します (⑤)。本章のサンプルでは、画面幅が md 以上のときに 6 列カラム (col-md-2) が 2 つ並ぶレイアウトになるように設定しています。左右の 6 列カラムの内を section 要素でマークアップします。左側の section 要素の id 属性値を **shop**、右側の section 要素の id 属性値を **access** と設定します (⑥)。

左右のセクション内の見出しどとなる h4 要素に、Spacing ユーティリティ (P.318 参照) の **mb-\* クラス** を追加し、下要素との間のスペースが詰まりすぎないようにマージンを適宜調整します (⑦)。左右セクション内の構成については、後の「左側セクションにテーブルを作成」、「右側セクションに Google マップを埋め込み」で説明します。

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10

### 9.10.3 左側セクションにテーブルを作成

左側のセクションには、店舗情報の表を配置します。店舗情報の表は、table要素に**tableクラス**と**table-hoverクラス**（P.80参照）を追加して、マウスオーバー表示するテーブルとして作成します。行数や列数の多いテーブルに対し、マウスオーバー時に行の背景色を変えることで、表の内容を読みやすくすることができます（リスト9-22）。

▼リスト9-22 左側セクションの作成（contents-05-left.html）

```
<!-- 左側セクション -->
<div class="col-md-6">
  <section id="shop">
    <h4 class="mb-3">Shop</h4>
    <!-- 店舗情報の表 -->
    <table class="table table-hover">
      <tbody>
        <tr>
          <th>店名</th>
          <td>Mr.M COFFEE</td>
        </tr>
        <tr>
          <th>住所</th>
          <td>〒000-0000 ○○県○○市○○町1-2-3</td>
        </tr>
        <tr>
          <th>電話番号</th>
          <td>000-000-0000</td>
        </tr>
        <tr>
          <th>営業時間</th>
          <td>8:00～18:00</td>
        </tr>
        <tr>
          <th>モーニング</th>
          <td>8:00～11:00</td>
        </tr>
        <tr>
          <th>ランチタイム</th>
          <td>11:30～14:00</td>
        </tr>
        <tr>
          <th>ラストオーダー</th>
          <td>17:30</td>
        </tr>
        <tr>
          <th>定休日</th>
          <td>水曜日、不定休</td>
        </tr>
```

```

<tr>
  <th> クレジットカード</th>
  <td>利用不可</td>
</tr>
<tr>
  <th>禁煙席</th>
  <td>喫煙席あり</td>
</tr>
<tr>
  <th>駐車場</th>
  <td>駐車場あり</td>
</tr>
</tbody>
</table>
<!-- /店舗情報の表 --&gt;
&lt;/section&gt;
&lt;/div&gt;
<!-- /左側セクション --&gt;
</pre>

```

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10

#### 9.10.4 右側セクションに Google マップを埋め込み

右側のセクションには、アクセスマップとして Google マップを埋め込みます。Google マップを埋め込みには、Embed ユーティリティ (P.356 参照) を使用します。Bootstrap の Embed ユーティリティは、iframe 要素、embed 要素、video 要素、object 要素といった外部ファイルを読み込む要素の表示をレスポンシブ対応させることができます。Google マップの埋め込みコードは iframe 要素として提供されるため、Embed ユーティリティを使って簡単にレスポンシブ対応させることができます。

ただし、Embed ユーティリティは本来、動画やスライドをページ内に埋め込むことを想定したユーティリティなので、埋め込み表示できるアスペクト比（長辺と短辺の比率）は数種類に限定されます。

Embed ユーティリティで表示できるアスペクト比は表 9-3 のとおりです。

▼表 9-3 Embed ユーティリティの `embed-responsive-*` クラスのバリエーション

クラス	アスペクト比
<code>embed-responsive-21by9</code>	21:9
<code>embed-responsive-16by9</code>	16:9
<code>embed-responsive-4by3</code>	4:3
<code>embed-responsive-1by1</code>	1:1

NOTE

#### Google マップの埋め込み

Google マップは、検索エンジンで有名な Google が提供する地図サービスです。地図を拡大表示させたり経路を調べたりすることができます非常に便利です。Google マップでは、Web サイトに地図を埋め込むためのコードを生成する機能が提供されており、その機能を利用して簡単に Web サイトに地図を埋め込むことができます。

まず、Google マップのページ (<https://www.google.co.jp/maps>) にアクセスし、埋め込みたい地図の住所を検索しましょう（図 9-43）。

▼図 9-43 埋め込みたい地図の住所を検索する



次に、表示された地図の拡大率などを調整し、表示されたメニューから**共有**をクリックします（図 9-44）。

▼図 9-44 [共有] をクリックする



表示されたウィンドウの**地図を埋め込む**のタブをクリックし、「小」「中」「大」「カスタム」のサイズを選択します（今回は「大」を選択しています）（図 9-45）。

▼図 9-45 地図を埋め込むサイズを選択する



1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10

埋め込みコードが iframe 要素として提供されるので、コピーして Web ページ内に貼り付ければ、埋め込み完了です（図 9-46）。

▼図 9-46 地図の埋め込みコードをコピーする



では Google マップを右側セクション内に埋め込んでみましょう（リスト 9-23）。

▼リスト 9-23 右側セクションの作成（contents-05-right.html）

```
<!-- 右側セクション -->
<div class="col-md-6">
  <section id="access">
    <h4 class="mb-3">Access</h4>
    <!-- アクセスマップ -->
    <div class="embed-responsive embed-responsive-4by3">①
      <iframe src="https://www.google.com/maps/embed?pb=1m18!1m12!1m3!1d3240.3327995344894!2d139.73338551256016!3d35.69342718019138!2m3!1f0!2f0!3f0!3m2!1i1024!2i768!4f13.1!3m3!1m2!1s0x60188c5e4123!29bb%3A0x7db38e6732953dc!2z44CSMTYyLTA4NDYg5p2x5Lqs6Y095paw5a6_5Yy65biG6LC35bem5YaF55S677yS77yR4o!3S77yR77yT!5e0!3m2!1sja!2sjp!4v1519361141867" width="800" height="600" frameborder="0" style="border:0" allowfullscreen>②</iframe>
    </div>
    <!-- /アクセスマップ -->
    <p>○○駅から徒歩12分（950m）、駐車場あり</p>
  </section>
</div>
<!-- /右側セクション -->
```

Google マップを埋め込む親要素に、Embed ユーティリティの **embed-responsive クラス** と **embed-responsive-{ アスペクト比 } クラス** を追加します（①）。これによって、子要素となる iframe 要素をレスポンシブ対応でサイズ変更させることができます。サンプルでは、iframe 要素の表示に 4 : 3 のアスペクト比を設定しています。embed-responsive クラスを設定した要素内に Google マップで提供された iframe 要素のコードを組み込みます（②）。

## 9.10.5 コンテンツ 05 の完成図

以上で、店舗情報を紹介するコンテンツ 05 「Information」が完成です。画面幅 md 以上では、店舗情報の表が左側に、アクセスマップが右側に、水平方向に横並びになります（図 9-47）。

▼図 9-47 コンテンツ 05 (画面幅 md 以上)

**Information**

カフェ Mr. M COFFEE(ミスター・エム・コーヒー)は、○○県の○○市○○町の山の中にはあります。大自然に囲まれて、こだわりのコーヒーを飲みながら、美味しい空気と美しい景色をご堪能ください。

Shop		Access
店名	Mr.M COFFEE	
住所	〒000-0000 ○○県○○市○○町1-2-3	
電話番号	000-000-0000	
営業時間	8:00~18:00	
モーニング	8:00~11:00	
ランチタイム	11:30~14:00	
ラストオーダー	17:30	
定休日	水曜日、不定休	
クレジットカード	利用不可	
禁煙席	喫煙席あり	
駐車場	駐車場あり	

店舗情報の表は、テーブル行のマウスオーバー時に背景色が変わります（図 9-48）。

▼図 9-48 テーブル行のマウスオーバー表示

Shop	
店名	Mr.M COFFEE
住所	〒000-0000 ○○県○○市○○町1-2-3
電話番号	000-000-0000
営業時間	8:00~18:00
モーニング	8:00~11:00
ランチタイム	11:30~14:00

画面幅 sm 以下では、店舗情報の表が上に、アクセスマップが下に、垂直方向に縦並びになります（図 9-49）。

▼図 9-49 コンテンツ 05 (画面幅 sm 以下)

## Information

カフェ Mr. M COFFEE(ミスターMコーヒー)は、○○県の○○市の山の中にはあります。大自然に囲まれて、こだわりのコーヒーを飲みながら、美味しい空気と美しい景色をご堪能ください。

### Shop

**店名** Mr.M COFFEE

**住所** 〒000-0000 ○○県○○市○○町1-2-3

**電話番号** 000-000-0000

**営業時間** 8:00～18:00

**モーニング** 8:00～11:00

**ランチタイム** 11:30～14:00

**ラストオーダー** 17:30

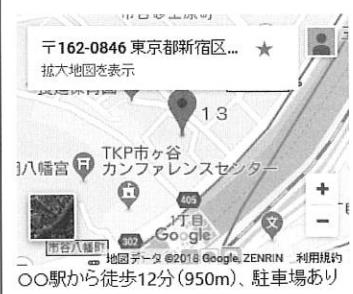
**定休日** 水曜日、不定休

**クレジットカード** 利用不可

**禁煙席** 喫煙席あり

**駐車場** 駐車場あり

### Access



1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10

9

11

SECTION

# フッターの作成

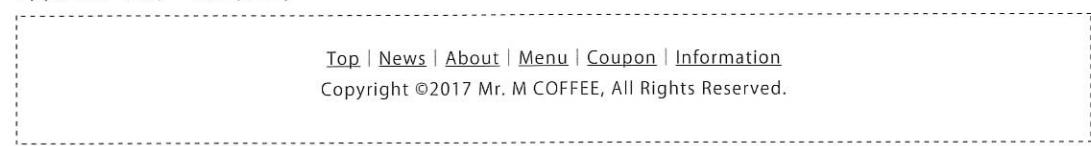
ナビゲーションやコピー・ライト（著作権表示）を含むフッターを作成します。

フッターには、水平方向中央揃えに配置するナビゲーション（P.150 参照）を使用します。

## 9.11.1 フッターのレイアウト

まず、ワイヤーフレームでフッターのレイアウトを再確認しておきましょう。画面幅 md 以上（デスクトップ PC での閲覧時）と画面幅 sm 以下（モバイル端末での閲覧時）とで、特にレイアウトの変更はありません（図 9-50）。

▼図 9-50 フッターのレイアウト



Top | News | About | Menu | Coupon | Information  
Copyright ©2017 Mr. M COFFEE, All Rights Reserved.

## 9.11.2 フッターの構成

ではフッターを作成ていきましょう（リスト 9-24）。

▼リスト 9-24 フッターの作成（footer.html）

```
<!-- フッター -->
<footer class="py-4 bg-dark text-light"> _____①
  <div class="container text-center"> _____②
    <!-- ナビゲーション -->
    <ul class="nav justify-content-center mb-3"> _____③
      <li class="nav-item"> _____④
        <a class="nav-link" href="#">Top</a> _____⑤
      </li>
      <li class="nav-item">
        <a class="nav-link" href="#">News</a> _____⑤
      </li>
      <li class="nav-item">
        <a class="nav-link" href="#">About</a> _____⑤
      </li>
      <li class="nav-item">
```

```

<a class="nav-link" href="#">Menu</a> —————
</li>
<li class="nav-item">
  <a class="nav-link" href="#">Coupon</a> —————
</li>
<li class="nav-item">
  <a class="nav-link" href="#">Information</a> —————
</li>
<li class="nav-item">
  <a class="nav-link" href="contact.html">Contact</a> —————
</li>
</ul>
<!-- /ナビゲーション -->
<p><small>Copyright &copy;2017 Mr. M COFFEE, All Rights Reserved.</small></p>
</div>
</footer>
<!-- /フッター -->

```

ページ全体の背景色が単調にならないように、footer 要素に **bg-dark クラス**を追加し、背景色を暗色 (#343a40) に設定します (❶)。また、暗色の背景でも文字が読めるように **text-light クラス**を追加し、文字色を明るいグレー (#f8f9fa) に設定します。

footer 要素内のコンテンツを水平中央に配置するために、div 要素に **container クラス**を追加し、テキストを中央揃えにするために、**text-center クラス**を追加します (❷)。

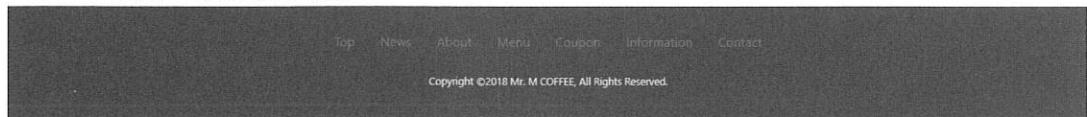
フッターにナビゲーション (P.150 参照) を組み込みます。ナビゲーションは、ul 要素に **nav クラス**を追加して作成します。nav クラスを設定した要素には、Flex ユーティリティ (P.322 参照) の **justify-content-center クラス**を追加してレイアウトを中心揃え、Spacing ユーティリティ (P.318 参照) の **mb-\* クラス**を追加して下要素との間のスペースが詰まりすぎないようにマージンを適宜調整します (❸)。

ナビゲーションの項目となる li 要素には、**nav-item クラス**を追加し、ナビゲーションのリストアイテムとして設定します (❹)。a 要素には **nav-link クラス**を追加し、ナビゲーションリンクとして設定します (❺)。

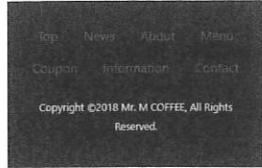
### 9.11.3 フッターの完成図

以上で、ナビゲーションやコピー・ライト（著作権表示）を含むフッターが完成です。画面幅 md 以上（デスクトップ PC での閲覧時）（図 9-51）と画面幅 sm 以下（モバイル端末での閲覧時）（図 9-52）とで、特にレイアウトの変更はありません。

▼図 9-51 フッター（画面幅 md 以上）



▼図 9-52 フッター（画面幅 sm 以下）



この時点で、トップページの構成の外観がひととおり整いました（図 9-53）。

▼図 9-53 トップページの外観（画面幅 md 以上）

Mr.M COFFEE

Mr. M COFFEE The New Style Coffee Culture

まだ早い季節のコーヒーを楽しむ。丁寧に挽いた豆、丁寧に淹れた一杯。それが、Mr. M COFFEE。

**News**

2010年7月1日

Mr. M COFFEE

新規出店情報

2010年7月1日

新規出店情報

新規出店情報

2010年7月1日

新規出店情報

新規出店情報

**Mr. M COFFEEについて**

Mr. M COFFEEは、コーヒー文化を世界へ広めることを目的とした、新しいスタイルの「カジュアル」な飲食店です。世界中の様々な豆を丁寧に挽き、丁寧に淹れる。それが、Mr. M COFFEE。丁寧に挽いた豆と丁寧に淹れた一杯。それが、Mr. M COFFEE。丁寧に挽いた豆と丁寧に淹れた一杯。それが、Mr. M COFFEE。

本店は、JR東京駅八重洲口改札直結の「東京ミッドタウン」内にあります。JR東京駅八重洲口改札直結の「東京ミッドタウン」内にあります。

[お問い合わせ](#) [店舗案内](#) [会員登録](#)

×つきの空間

[詳細]

洋装コーナー

[詳細]

×アフタヌーン

[詳細]

**Menu**

Mr. M COFFEEでは、ドリップ、挽いて、煮て、淹げてなど、様々な淹れ方でMr. M COFFEEの味わいをお楽しみください。

ドリップ・手挽き・煮込み・煮出し

**COFFEE**

Mr. Mシンド

350円(税別)

アイスモカ

450円(税別)

ブレンドショット

450円(税別)

エスプレッソ

350円(税別)

カプチーノ

450円(税別)

**Coupon**

Mr. M COFFEE ポイント

お1人様1回限り、1杯につき100円にてご使用

ワードカード(電子マネー)を発行する店舗にて、ワードカード(電子マネー)をお持ちにてこのクーポンを提示して下さい。

[ワードカード\(電子マネー\)](#)

**Information**

Mr. M COFFEEは、東京ミッドタウン八重洲口改札直結の「東京ミッドタウン」内にあります。JR東京駅八重洲口改札直結の「東京ミッドタウン」内にあります。

**Shop**

**ACCESS**

店名 Mr. M COFFEE

TEL 03-6684-0001

住所 東京都港区六本木一丁目1番1号

郵便番号 106-0031

電話番号 03-6684-0001

営業時間

モーニング 08:00~11:00

ランチタイム 11:30~14:30

カフェタイム 15:00~

営業日 月曜日~土曜日

ランチカーフ

営業時間

駐車場

駐車場

# リンクの設定と 追加 CSS の作成

トップページの構成はほぼ完成です。あとはリンクの設定や、追加した CSS ファイルにスタイルを設定してページ内リンクの位置調整を行っていきましょう。

## 9.12.1 ナビゲーションバーのリンク

ナビゲーションバー内に各コンテンツへのリンクを設定します（リスト 9-25）。

▼リスト 9-25 ナビゲーションバーのリンク設定（mockup-link-navbar.html）

```
<!-- ナビゲーションバー -->
<nav class="navbar navbar-expand-md navbar-dark bg-dark sticky-top">
  <div class="container">
    <!-- サブコンポーネント -->
    <!-- ブランド -->
    <a class="navbar-brand" href="index.html">Mr. M COFFEE</a>
    <!-- 切り替えボタン -->
    ...中略...
    <!-- ナビゲーション -->
    <div class="collapse navbar-collapse" id="navbar-content">
      <!-- ナビゲーションメニュー -->
      <!-- 左側メニュー：トップページの各コンテンツへのリンク -->
      <ul class="navbar-nav mr-auto">
        <li class="nav-item active">
          <a class="nav-link" href="#">Top <span class="sr-only">(current)</span></a>
        </li>
        <li class="nav-item">
          <a class="nav-link" href="#about">About</a> ━━━━━━
        </li>
        <li class="nav-item">
          <a class="nav-link" href="#menu">Menu</a> ━━━━━━
        </li>
        <li class="nav-item">
          <a class="nav-link" href="#coupon">Coupon</a> ━━━━
        </li>
      </ul>
      <!-- ドロップダウン -->
      <li class="nav-item dropdown">
        <a class="nav-link dropdown-toggle" href="#" id="navbarDropdown" role="button" data-toggle="dropdown" aria-haspopup="true" aria-expanded="false">
          Information
        </a>
      </li>
    </div>
  </div>
</nav>
```

①

```

</a>
<div class="dropdown-menu" aria-labelledby="navbarDropdown">
  <a class="dropdown-item" href="#shop">Shop</a> _____
  <a class="dropdown-item" href="#access">Access</a> _____
</div>
</li>
</ul>

<ul class="navbar-nav">
  <li class="nav-item">
    <a href="contact.html" class="nav-link btn btn-info">Contact</a> _____
  </li>
</ul>

</div>

</div>
</nav>


```

①

**nav-link クラス**や**dropdown-item クラス**が設定された a 要素のリンク先を、ページ内の各セクションの ID や、下層ページ (contact.html) に設定します (①)。

### 9.12.2 コンテンツ 02 のリンク

コンテンツ 02 「About」 内のリンクを設定します (リスト 9-26)。

▼リスト 9-26 コンテンツ 02 のリンク設定 (mockup-link-about.html)

```

<!-- 上段 -->
<div class="row mb-4">
  <div class="col-md-8 mb-3">
    <h3 class="mb-3">Mr. M COFFEEについて</h3>
    ...中略...
    <a href="#menu" class="btn btn-info">メニューを見る</a> _____
    <a href="#shop" class="btn btn-info">店舗情報を見る</a> _____
  </div>
  <div class="col-md-4">
    
  </div>
</div>
<!-- /上段 -->

```

①

.. コンテンツ上段の「メニューを見る」ボタンには「コンテンツ 03」 (#menu) へのリンクを、「店舗情報を見る」ボタンには「コンテンツ 05」 (#shop) へのリンクを設定します (①)。

### 9.12.3 フッターのリンク

フッター内のリンクを設定します（リスト 9-27）。

▼リスト 9-27 フッターのリンク設定（mockup-link-footer.html）

```
<!-- ナビゲーション -->
<ul class="nav justify-content-center mb-3">
  <li class="nav-item">
    <a class="nav-link" href="#">Top</a>
  </li>
  <li class="nav-item">
    <a class="nav-link" href="#news">News</a> _____
  </li>
  <li class="nav-item">
    <a class="nav-link" href="#about">About</a> _____
  </li>
  <li class="nav-item">
    <a class="nav-link" href="#menu">Menu</a> _____
  </li>
  <li class="nav-item">
    <a class="nav-link" href="#coupon">Coupon</a> _____
  </li>
  <li class="nav-item">
    <a class="nav-link" href="#shop">Information</a> _____
  </li>
  <li class="nav-item">
    <a class="nav-link" href="contact.html">Contact</a> _____
  </li>
</ul>
<!-- /ナビゲーション -->
```

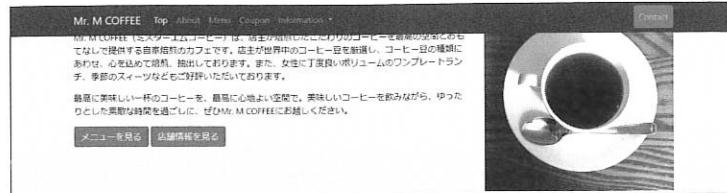
**nav-link クラス**が設定された `a` 要素のリンク先を、ページ内の各セクションの ID や、下層ページ（`contact.html`）に設定します（①）。

### 9.12.4 ページ内リンクの位置調整

最後に CSS にスタイルを追加し、ページ内リンクの移動時の位置調整を行います。

本章のサンプルでは、ナビゲーションバーに設定された **sticky-top クラス**により、ナビゲーションバーがページ上部に到達すると固定配置されます。そのため、ページ内リンクで移動した際、各セクションの見出しがナビゲーションバーの下に隠れて見えなくなってしまいます（図 9-54）。

▼図9-54 ナビゲーションバーに隠れる見出し



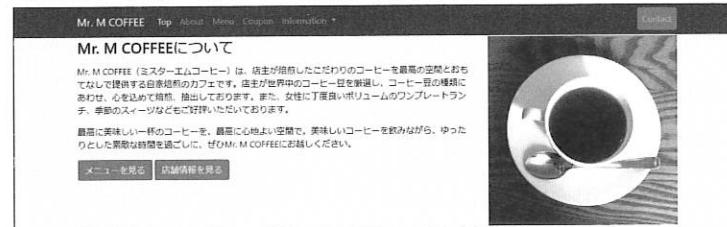
これを防ぐために、追加スタイル **css/custom.css** に次のスタイルを指定し、ナビゲーションバーの高さの分、ページ内リンクの位置をずらす調整を行います（リスト9-28）。

▼リスト9-28 ページ内リンクの位置調整（css/custom.css）

```
@charset "UTF-8";
/* ページ内リンクの位置調整 */
section {
    margin-top: -60px;
    padding-top: 60px;
}
```

ページ内リンクの位置調整が完了し、見出しが隠れなくなりました（図9-55）。

▼図9-55 ナビゲーションバーの高さ分の見出し位置調整



以上で、トップページのモックアップは完成です。

9

13

SECTION

# 下層ページ（Contact）の作成

お問合せフォームをコンテンツとする下層ページ「Contact」（contact.html）を作成します。このページには、**パンくずリスト**（P.179 参照）と**フォーム**（P.196 参照）、**バッジ**（P.115 参照）などのコンポーネントを使用します。

## 9.13.1 ファイルの準備

ワイヤーフレームの項（P.364 参照）でも触ましたが、ヘッダーとナビゲーションバー、フッターなど、メイン以外の構成はトップページと共通です。

まずはトップページの HTML ファイル「index.html」を複製して、「contact.html」を作成しましょう（リスト 9-29）。

▼リスト 9-29 下層ページ用のファイル contact.html を作成（contact-base.html）

```
<!doctype html>
<html lang="ja">
<head>
    <meta charset="utf-8">
    <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1, shrink-to-fit=no">
    <link rel="stylesheet" href="css/bootstrap.min.css">
    <!-- 追加CSS -->
    <link rel="stylesheet" href="css/custom.css">
    <title>Contact | カフェ Mr. M COFFEE (ミスターエムコーヒー) </title> ②
</head>

<body>
    <!-- ヘッダー -->
    <header class="py-4">
        <div class="container text-center">
            <h1><a href="index.html"></a></h1>
        </div>
    </header>
    <!-- /ヘッダー -->
    <!-- ナビゲーションバー -->
    <nav class="navbar navbar-expand-md navbar-dark bg-dark sticky-top">
        <!-- サブコンポーネント -->
        <div class="container">
            <!-- ブランド -->
```

1  
2  
3  
4  
5  
6  
7  
8  
9  
10

```

<a class="navbar-brand" href="index.html">Mr. M COFFEE</a>
<!-- 切り替えボタン -->
<button class="navbar-toggler" type="button" data-toggle="collapse" data-target="#navbar-content" aria-controls="navbar-content" aria-expanded="false" aria-label="Toggle navigation">
    <span class="navbar-toggler-icon"></span>
</button>

<!-- ナビゲーション -->
<div class="collapse navbar-collapse" id="navbar-content">
    <!-- ナビゲーションメニュー -->
    <!-- 左側メニュー：トップページの各コンテンツへのリンク -->
    <ul class="navbar-nav mr-auto">
        <li class="nav-item active">
            <a class="nav-link" href="index.html">Top <span class="sr-only">(current)</span>
        </li>
        <li class="nav-item">
            <a class="nav-link" href="index.html#about">About</a>
        </li>
        <li class="nav-item">
            <a class="nav-link" href="index.html#menu">Menu</a>
        </li>
        <li class="nav-item">
            <a class="nav-link" href="index.html#coupon">Coupon</a>
        </li>
        <!-- ドロップダウン -->
        <li class="nav-item dropdown">
            <a class="nav-link dropdown-toggle" href="#" id="navbarDropdown" role="button" data-toggle="dropdown" data-target="navbarDropdown" aria-haspopup="true" aria-expanded="false">
                Information
            </a>
            <div class="dropdown-menu" aria-labelledby="navbarDropdown">
                <a class="dropdown-item" href="index.html#shop">Shop</a>
                <a class="dropdown-item" href="index.html#access">Access</a>
            </div>
        </li>
    </ul>
    <!-- 右側メニュー：Contactページへのリンク -->
    <ul class="navbar-nav">
        <li class="nav-item"><a href="contact.html" class="nav-link btn btn-info">Contact</a></li>
    </ul>
    <!-- /ナビゲーションメニュー -->
</div>
<!-- /サブコンポーネント -->
</nav>
<!-- /ナビゲーションバー -->
<!-- メイン -->

```

③

```

<main>
  </main>
  <!-- /メイン -->
  <!-- フッター -->
  <footer class="py-4 bg-dark text-light">
    <div class="container text-center">
      <!-- ナビゲーション -->
      <ul class="nav justify-content-center mb-3">
        <li class="nav-item">
          <a class="nav-link" href="index.html">Top</a> ①
        </li>
        <li class="nav-item">
          <a class="nav-link" href="index.html#news">News</a> ②
        </li>
        <li class="nav-item">
          <a class="nav-link" href="index.html#about">About</a> ③
        </li>
        <li class="nav-item">
          <a class="nav-link" href="index.html#menu">Menu</a> ④
        </li>
        <li class="nav-item">
          <a class="nav-link" href="index.html#coupon">Coupon</a> ⑤
        </li>
        <li class="nav-item">
          <a class="nav-link" href="index.html#shop">Information</a> ⑥
        </li>
        <li class="nav-item">
          <a class="nav-link" href="contact.html">Contact</a> ⑦
        </li>
      </ul>
      <!-- /ナビゲーション -->
      <p><small>Copyright &copy;2017 Mr. M COFFEE, All Rights Reserved.</small></p>
    </div>
  </footer>
  <!-- /フッター -->

  <script src="js/jquery-3.3.1.slim.min.js"></script>
  <script src="js/bootstrap.bundle.min.js"></script>
</body>
</html>

```

トップページで作成した main 要素の内容を削除します（①）。

下層ページのタイトルとして、title 要素の内容を「Contact | カフェ Mr. M COFFEE（ミスター・エムコーヒー）」に変更しましょう（②）。また、ナビゲーションバー やフッターのナビゲーションのリンクを、トップページのコンテンツへのリンクに書き換えます（③）。

### 9.13.2 下層ページのレイアウト

まず、ワイヤーフレームで下層ページのレイアウトを再確認しておきましょう。画面幅 md 以上（デスクトップ PC での閲覧時）では、お問合せ項目と入力欄とが水平方向に横並びになります（図 9-56）。

▼図 9-56 下層ページのワイヤーフレーム（画面幅 md 以上）

The wireframe shows a contact form with the following layout:

- Top / Contact** header.
- Contact** section with a decorative background.
- お問合せフォーム** (Contact Form) section.
- お名前**: Text input field.
- メールアドレス**: Text input field.
- きっかけ**: Radio buttons for "口コミ", "検索エンジン", and "その他".
- お問合せ種類**: Select dropdown menu.
- お問合せ内容**: Large text area for message.
- 確認する** (Check) button at the bottom.

画面幅 sm 以下（モバイル端末での閲覧時）では、お問合せ項目と入力欄とが垂直方向に縦並びになります（図 9-57）。

▼図 9-57 下層ページのワイヤーフレーム（画面幅 sm 以下）

The wireframe shows the same contact form as in Figure 9-56, but with a vertical layout due to the smaller screen width:

- Top / Contact** header.
- Contact** section with a decorative background.
- お問合せフォーム** (Contact Form) section.
- お名前**: Text input field.
- メールアドレス**: Text input field.
- きっかけ**: Radio buttons for "口コミ", "検索エンジン", and "その他".
- お問合せ種類**: Select dropdown menu.
- お問合せ内容**: Large text area for message.
- 確認する** (Check) button at the bottom.

### 9.13.3 下層ページの構成

では下層ページを構成していきましょう（リスト9-30）。

▼リスト9-30 下層ページの構成（contact-layout.html）

```
…省略…  

<!-- /ナビゲーションバー -->  

<!-- パンくずリスト -->  

<nav aria-label="breadcrumb"> _____ ①  

  (ここにパンくずリストが入ります)  

</nav>  

<!-- /パンくずリスト -->  

<!-- メイン -->  

<main>  

  <div class="container"> _____ ②  

    <h2>Contact</h2>  

    <p>カフェ Mr. M COFFEE（ミスター・エム・コーヒー）へのお問合せは、こちらのフォームをご利用ください。</p>  

    </div>  

    <!-- お問合せフォーム -->  

    <div class="py-3"> _____ ③  

      <div class="container"> _____ ④  

        <h3 class="mb-3">お問合せフォーム</h3> _____ ⑤  

        <!-- フォーム -->  

        <form> _____  

          (ここにフォームが入ります)  

        </form>  

        <!-- /フォーム -->  

      </div>  

    </div>  

    <!-- / お問合せフォーム -->  

</main>
```

下層ページでは、ナビゲーションバーとメインとの間に**パンくずリスト**（P.179参照）を設置します。まず nav 要素に属性 **aria-label="breadcrumb"** を追加し、スクリーンリーダーなどの支援技術に対してこのナビゲーションがパンくずリストであることを伝えましょう（①）。パンくずリスト内の構成については、後の「パンくずリストの作成」で説明します。

main要素内のコンテンツをページの水平中央に配置するために、div要素に**containerクラス**を追加します（②）。また、ページ内のコンテンツ間が詰まって見えないように、Spacingユーティリティ（P.318参照）の**py-\* クラス**を追加し、コンテンツ内に上下パディングを設定しています（③）。このコンテンツの見出しどころのh3要素には、Spacingユーティリティ（P.318参照）の**mb-\* クラス**を追加し、下要素との間のスペースが詰まりすぎないようにマージンを適宜調整します（④）。見出しの後にはフォーム（P.196参照）を設置します（⑤）。フォーム内の構成については、後の「フォームの作成」で説明します。

### 9.13.4 パンくずリストの作成

では、nav要素内にパンくずリスト（P.179参照）組み込んでいきましょう（リスト9-31）。

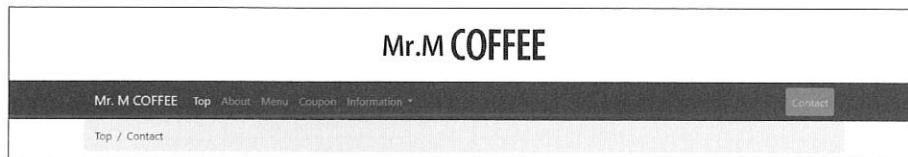
▼リスト9-31 パンくずリストの作成（contact.html）

```
<!-- パンくずリスト -->
<nav aria-label="breadcrumb">
  <ol class="breadcrumb container"> _____ ①
    <li class="breadcrumb-item"> _____
      <a href="index.html">Top</a>
    </li> _____ ②
    <li class="breadcrumb-item active" aria-current="page"> _____
      Contact
    </li>
  </ol>
</nav>
<!-- //パンくずリスト -->
```

nav要素内のol要素に**breadcrumbクラス**を追加し、ページ内で水平中央に配置するために、**containerクラス**を追加します（①）。

li要素には**breadcrumb-itemクラス**を追加し、パンくずリストの項目を作成します（②）。また、現在位置を項目となるli要素には**activeクラス**を追加し、スクリーンリーダーなどの支援技術に対して現在位置を示していることを伝えるために属性**aria-current="page"**を追加します（図9-58）。

▼図9-58 パンくずリスト



### 9.13.5 フォームの作成

form要素に**フォーム**（P.196参照）を組み込んで、お問合せフォームを作成していきましょう（リスト9-32）。

▼リスト9-32 フォームの作成（contact.html）

```
<!-- フォーム -->
<form>
  <!-- お名前 -->
  <div class="form-group row"> _____ ①
    <label for="name" class="col-md-3 col-form-label"> _____ ②
      お名前 <span class="badge badge-warning">必須</span> _____ ④
    </label>
```

```

<div class="col-md-9">
    <input type="text" class="form-control" id="name" required> ③
</div>
<!-- メールアドレス -->
<div class="form-group row"> ①
    <label for="email" class="col-md-3 col-form-label"> ②
        メールアドレス <span class="badge badge-warning">必須</span> ④
    </label>
    <div class="col-md-9">
        <input type="email" class="form-control" id="email" required> ③
    </div>
</div>
<!-- きっかけ -->
<fieldset class="form-group"> ①
    <div class="row">
        <legend class="col-form-label col-md-3"> ②
            Mr. M COFFEEを知ったきっかけ
        </legend>
        <div class="col-md-9">
            <div class="form-check form-check-inline"> ⑦
                <input class="form-check-input" type="radio" name="questionnaire" id="radio1" ↪
                value="answer1"> ⑤
                    <label class="form-check-label" for="radio1">口コミ</label> ⑥
            </div>
            <div class="form-check form-check-inline"> ⑦
                <input class="form-check-input" type="radio" name="questionnaire" id="radio2" ↪
                value="answer2"> ⑤
                    <label class="form-check-label" for="radio2">検索エンジン</label> ⑥
            </div>
            <div class="form-check form-check-inline"> ⑦
                <input class="form-check-input" type="radio" name="questionnaire" id="radio3" ↪
                value="answer3"> ⑤
                    <label class="form-check-label" for="radio3">検索エンジン</label> ⑥
            </div>
        </div>
    </div>
</fieldset>
<!-- 種類 -->
<div class="form-group row"> ①
    <label for="category" class="col-md-3 col-form-label"> ②
        お問合せ種類 <span class="badge badge-warning">必須</span> ④
    </label>
    <div class="col-md-9">
        <select class="form-control" id="category" name="category"> ③
            <option value="category1">ご予約について</option>
            <option value="category2">委託販売について</option>
            <option value="category3">その他のお問合せ</option>
        </select>
    </div>

```

```

</div>
</div>
<!-- 内容 -->


_____ ①
    <label for="message" class="col-md-3 col-form-label"> _____ ②
        お問合せ内容 <span class="badge badge-warning">必須</span> _____ ④
    </label>
    <div class="col-md-9">
        <textarea class="form-control" id="message" rows="8" name="message"></textarea> _____ ③
    </div>
</div>
<!-- 確認ボタン -->


_____ ①
    <div class="col-md-9">
        <button type="submit" class="btn btn-primary">確認する</button> _____ ⑧
    </div>
</div>
</form>
<!-- /フォーム -->


```

## ■ フォーム全体の構成

お問合せフォームの各項目内のラベルや入力コントロールを、**form-group クラス**を追加したdiv要素で囲んでグループ化します（①）。また、グリッドレイアウトを組み込んでグループ内の要素を横並びにする場合は、form-groupクラスが設定された要素に**row クラス**を追加し、子要素に**col-md-\***を追加してレイアウトを行います。サンプルでは、画面幅md以上とのときに、3列カラム（col-md-3）のラベルと、9列カラム（col-md-9）の入力コントロールが横並びになるようレイアウトされています。

label要素やlegend要素に**col-form-label クラス**を追加し、ラベルと入力コントロールとを垂直方向中央にレイアウトを揃えます（②）。

入力コントロールとなる要素に**form-control クラス**を追加し、入力欄の外観、フォーカス状態、サイズなどを整えます（③）。

## ■ 必須項目の表示

入力項目に「必須」を表示するバッジ（P.115参照）は、span要素に**badge クラス**、**badge-{ 色の種類 } クラス**を追加して作成します（④）。サンプルでは、色の種類に「warning」を使用して、黄色の背景色のバッジを表示させています。

## ■ ラジオボタンの作成

複数の選択肢から1つの回答を選択するラジオボタンを作成します。ラジオボタンを作成する場合は、ラベルとなるlabel要素に**form-check-label クラス**を追加します（⑥）。入力コントロールとなるinput要素には**form-check-input クラス**を追加します（⑤）。ラベルと入力コントロールは、label要素のfor属性値とinput要素のid属性値を一致させることで関連付け、**form-check クラス**を追加したdiv要素で囲みます

(⑦)。また、form-check クラスが設定された要素に **form-check-inline** クラスを追加すると、選択項目が横並びになります。

## ■ 確認ボタンの作成

確認ボタンを作成します。button 要素に **btn** クラス、**btn-primary** クラスを追加し、確認ボタンの形状と色を設定します（⑧）。また、form-group クラスを設定した div 要素に、Flex ユーティリティ（P.322 参照）の **justify-content-end** クラスを追加して、確認ボタンが配置された 9 列カラム（col-md-9）の位置を右側に配置します。

### 9.13.6 下層ページの完成図

以上で、お問合せフォームをコンテンツとする下層ページ「Contact」が完成です。画面幅 md 以上では、お問合せ項目と入力欄とが水平方向に横並びになります（図 9-59）。

▼図 9-59 お問合せフォーム（画面幅 md 以上）

画面幅 sm 以下では、お問合せ項目と入力欄とが垂直方向に縦並びになります（図 9-60）。

▼図9-60 お問合せフォーム（画面幅sm以下）

The screenshot shows a mobile-optimized contact form for Mr. M COFFEE. At the top, there's a header with the logo 'Mr. M COFFEE'. Below it is a navigation bar with 'Mr. M COFFEE' and a menu icon. The main content area is titled 'Contact' and contains a message: 'カフェ Mr. M COFFEE(ミスター・エム・コーヒー)へのお問合せは、こちらのフォームをご利用ください。' Below this is a section titled 'お問合せフォーム'.

Form fields include:

- 「お名前」 (必填) - Name input field
- 「メールアドレス」 (必填) - Email input field
- 「Mr. M COFFEEを知ったきっかけ」 - A dropdown menu with options: ○ 口コミ, ○ 検索エンジン, ○ 検索エンジン
- 「お問い合わせ種類」 (必填) - A dropdown menu with option: ご予約について
- 「お問い合わせ内容」 (必填) - Large text area for message

At the bottom of the form is a '確認する' (Confirm) button.

The footer contains links: Top, News, About, Menu, Coupon, Information, Contact, and Copyright ©2018 Mr. M COFFEE, All Rights Reserved.

以上で、Bootstrapを使用した「Mr. M COFFEE (ミスター・エム・コーヒー)」というカフェのWebサイトのモックアップは完成です。